

新型コロナの影響で収入が減ったひとり親世帯の支援プロジェクトに取り組み日本賃貸保証（千葉県木更津市）は、3日時点で179世帯に支援金を送った。

1世帯あたり一律5万円を送金する。5月19日に開設した特設サイト上で申請を受け付けており、申請件数は6月30日時点で413件。一部、支援対象外のケースを除き順次対応している。4月27日にグループのNPO法人を通して

179世帯に支援金

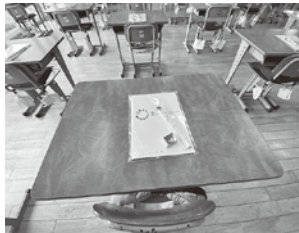
日本賃貸保証 一律5万円を送金

基金を設立。クラウドファンディングでこれまでに寄せられた200万円ほどの寄付金のほか、日本賃貸保証が拠出した3000万円を支援金に充てる。7月末の支給分まで申請を受け付ける予定だ。

同社では、これまで家賃の滞納者に食糧支援や職業紹介などを通じて生活の立て直しを支援してきた。本社

近隣の小学校に学習道具を贈呈するなどの取り組みも実施しており、2020年は木更津市内の全校7300人の生徒に

▲学校に学習用品を配布



ノートや鉛筆、消しゴムを配布した。

今回のプロジェクトで支援を受けた世帯からは、食費や生活費のほか、子どもが新学期へ進級したため履きや学用品の購入に充てたという声が届いているという。

梅田真理子社長は「（支援に対し）『勇気づけられた』という声もいただいた。少しでも手助けになれば」と話す。